

「令和5年度」

# 公開財務情報

- ①財産目録
- ②貸借対照表
- ③資金収支計算書
- ④活動区分資金収支計算書
- ⑤事業活動収支計算書
- ⑥事業報告書
- ⑦監査報告書

# ① 財産目録

(令和6年3月31日現在)

(単位：千円)

<b>I. 資産総額</b>	10,697,542千円
内 基本財産	6,071,264千円
運用財産	4,626,278千円
収益事業用財産	0千円
<b>II. 負債総額</b>	685,145千円
<b>III. 正味財産</b>	10,012,397千円

区分	金額
資産額	
1. 基本財産	
土地	34,459 m <sup>2</sup> 1,000,588千円
建物	24,806 m <sup>2</sup> 4,278,502千円
図書	28,114 冊 31,465千円
教具・校具・備品	8,199 点 524,975千円
その他	235,734千円
2. 運用財産	
現金預金	3,295,217千円
その他	1,331,061千円
3. 収益事業用財産	0千円
<b>I. 資産総額</b>	10,697,542千円
負債額	
1. 固定負債	
その他	331,406千円
2. 流動負債	
その他	353,739千円
<b>II. 負債総額</b>	685,145千円
<b>III. 正味財産 (資産総額-負債総額)</b>	10,012,397千円

## ② 貸借対照表

(令和6年3月31日)

(単位：千円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	7,335,109	8,131,557	△ 796,448
有形固定資産	6,071,264	6,203,227	△ 131,963
土地	1,000,588	1,000,588	0
建物	4,278,502	4,452,001	△ 173,499
その他の有形固定資産	792,174	750,638	41,536
特定資産	751,404	709,886	41,518
その他の固定資産	512,441	1,218,443	△ 706,002
流動資産	3,362,434	2,389,123	973,311
現金預金	3,295,217	2,338,663	956,554
その他の流動資産	67,217	50,460	16,757
資産の部合計	10,697,543	10,520,680	176,863
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	331,406	359,889	△ 28,483
その他の固定負債	331,406	359,889	△ 28,483
流動負債	353,738	371,395	△ 17,657
その他の流動負債	353,738	371,395	△ 17,657
負債の部合計	685,144	731,284	△ 46,140
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	10,352,760	10,198,321	154,439
第1号基本金	9,785,760	9,681,321	104,439
第2号基本金	400,000	350,000	50,000
第4号基本金	167,000	167,000	0
繰越収支差額	△ 340,362	△ 408,925	68,563
翌年度繰越収支差額	△ 340,362	△ 408,925	68,563
純資産の部合計	10,012,398	9,789,396	223,002
負債及び純資産の部合計	10,697,542	10,520,680	176,862

\* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

### ③ 資金収支計算書

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

(単位：千円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	2,557,267	2,557,267	0
手数料収入	28,768	28,896	△ 128
寄付金収入	200	200	0
補助金収入	295,610	295,610	0
資産売却収入	1,000,923	1,000,923	0
付随事業・収益事業収入	400	400	0
受取利息・配当金収入	9,500	9,644	△ 144
雑収入	51,900	52,297	△ 397
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	114,600	114,600	0
その他の収入	715,510	714,214	1,296
資金収入調整勘定	△ 183,961	△ 183,961	0
前年度繰越支払資金	2,338,663	2,338,663	0
収入の部合計	6,929,379	6,928,752	627
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,510,000	1,504,604	5,396
教育研究経費支出	624,433	619,650	4,783
管理経費支出	263,479	257,171	6,308
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	34,500	33,723	777
設備関係支出	203,000	197,604	5,396
資産運用支出	370,000	370,000	0
その他の支出	800,262	796,956	3,306
資金支出調整勘定	△ 183,192	△ 146,172	△ 37,020
翌年度繰越支払資金	3,306,897	3,295,217	11,680
支出の部合計	6,929,379	6,928,752	627

\* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

#### ④ 活動区分資金収支計算書

令和5年4月1日から  
令和6年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	金 額
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,557,267
		手数料収入	28,896
		一般寄付金収入	200
		経常費等補助金収入	295,609
		付随事業収入	400
		雑収入	52,297
		教育活動資金収入計	2,934,669
	支出	人件費支出	1,504,604
		教育研究経費支出	619,650
		管理経費支出	257,171
		教育活動資金支出計	2,381,425
	差引	553,244	
	調整勘定等	3,570	
	教育活動資金収支差額	556,814	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	施設整備等活動資金収入計	923
	支出	施設関係支出	33,723
		設備関係支出	197,604
		第2号基本金引当特定資産繰入支出	50,000
		施設整備等活動資金支出計	281,327
		差引	△ 280,404
		調整勘定等	△ 6,547
	施設整備等活動資金収支差額	△ 286,951	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			269,863
その他の活動による資金収支	科 目		金 額
	収入	有価証券償還収入	1,000,000
		受取利息・配当金収入	9,644
		預り金受入収入	588,337
		仮払金回収収入	58,293
		退職給与引当特定資産取崩収入	28,482
		その他の活動資金収入計	1,684,756
	支出	有価証券購入支出	300,000
		海外研修引当特定資産繰入支出	20,000
		預り金支払支出	611,967
		仮払金支払支出	65,994
貯蔵品支払支出		104	
その他の活動資金支出計		998,065	
	差引	686,691	
	その他の活動資金収支差額	686,691	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)			956,554
前年度繰越支払資金			2,338,663
翌年度繰越支払資金			3,295,217

\* 記載金額は単位未満を四捨五入しているため、合計などにおいて差異が生じる場合があります。

## ⑤ 事業活動収支計算書

令和5年4月1日から

令和6年3月31日まで

(単位：千円)

		科 目	予 算	決 算	差 異	
		教育活動収入の部	事業活動収入の部	学生生徒納付金	2,557,267	2,557,267
	手数料		28,768	28,896	△ 128	
	寄付金		200	200	0	
	経常費等補助金		295,610	295,610	0	
	付随事業収入		400	400	0	
	雑収入		51,900	52,297	△ 397	
	教育活動収入計		2,934,145	2,934,670	△ 525	
教育活動支出の部	事業活動支出の部		科 目	予 算	決 算	差 異
			人件費	1,482,500	1,476,121	6,379
			教育研究経費	974,433	970,068	4,365
		管理経費	282,479	276,046	6,433	
		教育活動支出計	2,739,412	2,722,235	17,177	
	教育活動収支差額	194,733	212,435	△ 17,702		
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		受取利息・配当金	9,500	9,644	△ 144	
		その他の教育活動外収入	0	0	0	
		教育活動外収入計	9,500	9,644	△ 144	
	教育活動外支出の部		借入金利息	0	0	0
			その他の教育活動外支出	0	0	0
			教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額	9,500	9,644	△ 144		
	経常収支差額	204,233	222,079	△ 17,846		
特別収支	事業活動収入の部	科 目	予 算	決 算	差 異	
		資産売却差額	923	923	0	
		その他の特別収入	0	0	0	
		特別収入計	923	923	0	
	特別支出の部		資産処分差額	1	1	0
			その他の特別支出	0	0	0
			特別支出計	1	1	0
	特別収支差額	922	922	0		
	基本金組入前当年度収支差額	205,156	223,002	△ 17,846		
	基本金組入額合計	△ 160,000	△ 154,439	△ 5,561		
	当年度収支差額	45,156	68,563	△ 23,407		
	前年度繰越収支差額	△ 455,012	△ 408,925	△ 46,087		
	翌年度繰越収支差額	△ 409,856	△ 340,362	△ 69,494		

(参考)

事業活動収入計	2,944,567	2,945,236	△ 669
事業活動支出計	2,739,411	2,722,235	17,176

## ⑥事業報告書

### 1. 建学の精神

#### 1. 建学の精神

「日本医療科学大学」は、「**報恩感謝**」を校是としています。

人は生まれながらにして、親、家族、社会から様々な恩恵を受けて、生かされています。例えば、今日食卓で口にするもの一つをとっても、見知らぬ多くの人々の手を経て私たちに届くのです。

こうした恩に報い、常に感謝する気持ちを持った有為な人材を育てることこそ、「日本医療科学大学」の崇高な理念であり、この建学の精神を具現した多くの医療人・研究者を輩出させたいと考えています。

#### 2. 基本理念 ; 「愛情」「知性」「行動」

「**愛 情**」: 豊かな人間愛に満ちた人格形成

「**知 性**」: 広範な学術の研究練磨

「**行 動**」: 現代社会への貢献

## 2. 法人の概要

### 1. 学校法人の沿革

大正 7年	城西実務学校 設立
昭和 26年	学校法人城西学園へ組織変更
昭和 59年 4月	城西医療技術専門学校（診療放射線学科） 設立
平成 8年 4月	城西医療技術専門学校に理学療法学科 開設
平成 11年 4月	城西医療技術専門学校に作業療法学科 開設
平成 15年 8月	学校法人埼玉城西学園設立 城西医療技術専門学校（3学科）を移管
平成 18年 11月	学校法人城西医療学園に組織変更、日本医療科学大学設立認可
平成 19年 4月	日本医療科学大学 保健医療学部 診療放射線学科・リハビリテーション学科（理学療法学専攻・作業療法学専攻） 開設
平成 21年 3月	城西医療技術専門学校 閉校
平成 24年 4月	日本医療科学大学 看護学科・臨床工学科 開設
平成 31年 4月	診療放射線学科の収容定員を90名へ変更
令和 3年 4月	日本医療科学大学 臨床検査学科 開設

### 2. 設置する学校・課程・学科・入学定員・学生数の状況（令和6年5月1日現在）

学校名 (所在地)	学部・学科名等	開設 年度	入学 定員	収容 定員	在籍人員	
						女子
日本医療科学大学 (埼玉県入間郡毛呂山町)	保健医療学部	H19	410	1,640	1,627	797
	診療放射線学科	H19	90	360	456	212
	リハビリテーション学科	H19	120	480	404	155
	<理学療法学専攻>	<H19>	<80>	<320>	<294>	<102>
	<作業療法学専攻>	<H19>	<40>	<160>	<110>	<53>
	看護学科	H24	80	320	321	233
	臨床工学科	H24	40	160	149	43
	臨床検査学科	R3	80	320	297	154

### 3. 役員（令和6年5月1日現在）

9名；理事7名（うち、理事長1名）、監事2名

### 4. 教職員（令和6年5月1日現在）

学長	副学長	学部長	診療放射線学科	リハビリテーション学科		看護学科	臨床工学科	臨床検査学科	医療・基礎教育科	専任教員計※	事務職員	兼任教員計	総合計
				理学療法学専攻	作業療法学専攻								
1 (0)	1 (0)	1 (0)	11 (2)	12 (2)	9 (2)	20 (18)	9 (2)	12 (6)	8 (2)	81 (34)	59 (33)	189 (51)	413 (152)

※学長、副学長を除く 下段の（ ）は女性



## 5. 入学試験の概要

	診療放射線 学科		リハビリテーション学科				看護学科		臨床工学科		臨床検査学科		合計	
			理学療法学 専攻		作業療法学 専攻									
年度	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数	志願 者数	入学 者数
2024 年度	419 (213)	122 (60)	163 (67)	56 (18)	61 (27)	15 (7)	182 (135)	64 (46)	135 (65)	27 (9)	273 (151)	82 (40)	1233 (658)	366 (180)
2023 年度	572 (278)	119 (59)	233 (99)	86 (25)	88 (41)	24 (10)	224 (150)	86 (63)	190 (93)	35 (13)	303 (185)	75 (38)	1610 (846)	425 (208)
2022 年度	555 (216)	108 (45)	220 (78)	86 (32)	93 (50)	26 (17)	228 (166)	95 (70)	180 (62)	50 (12)	338 (175)	87 (47)	1614 (747)	452 (223)
2021 年度	613 (234)	110 (48)	279 (96)	91 (35)	120 (47)	30 (13)	255 (172)	86 (61)	281 (85)	42 (8)			1935 (824)	451 (212)
2020 年度	605 (214)	103 (50)	386 (114)	91 (36)	172 (58)	44 (9)	284 (202)	92 (77)	271 (90)	44 (16)			1,718 (678)	374 (188)
2019 年度	587 (219)	95 (38)	331 (102)	92 (27)	169 (66)	45 (20)	332 (227)	91 (72)	288 (107)	53 (19)			1,707 (721)	376 (176)

下段の ( ) は女子学生

## 6. 令和5年度 卒業・就職等の状況 (令和6年5月1日現在)

	4年次 在籍 者数	卒業 生数	留年 者数	退学 者数	休学 者数	進学 者数	国家試験 合格者数	合格率 (%) <※>	平均合格率 新卒平均 (%)	合格者 就職者数	本学 平均 合格者数 [累計]	就職 希望者 就職率(%)
診療放射線 学科	107 (55)	88 (44)	15 (5)	4 (3)	0 (0)	0 (0)	81 (40)	92 (90.9)	79.5 86.3	74 (35)	0 [68]	90.36
リハビリテー ション 学科	139 (53)	109 (41)	25 (11)	5 (1)	0 (0)	0 (0)	106 (38)	97.2 (92.7)		106 (38)	3 [119]	100
理学療法学 専攻	95 (35)	82 (31)	9 (3)	4 (1)	0 (0)	0 (0)	82 (31)	100 (100)	89.2 95.2	82 (31)	1 [61]	100
作業療法学 専攻	44 (18)	27 (10)	16 (8)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	24 (7)	88.9 (70)	84.1 91.3	24 (7)	2 [58]	100
看護学科	84 (68)	82 (68)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	75 (61)	91.5 <95> (89.7)	95.7 97.7	74 (61)	0 [22]	100 ※1名進学
臨床工学科	46 (14)	42 (13)	3 (0)	1 (1)	0 (0)	1 (0)	34 (10)	81 (76.9)	79.5 87.9	29 (10)	0 [9]	90.63 ※1名進学

下段の ( ) は女子学生。<※>看護学科合格率 (上段; 看護師、中段; <保健師>)

### 3. 令和5年度 事業の概要

#### 1 教学部門の取り組み

- (1) 令和5年度は、5月に新型コロナウイルス感染症の位置付けが5類へと引き下げられ、さまざまな規制の緩和が進められた。授業については4月から対面での授業を行っており、国家試験について、早い段階から国家試験対策教材を使用した補講や模擬テストの実施、成績不振者に対する個別指導、夏季・春季等の長期休暇を含め休日における補講と自習、既卒生に対する特別クラスの編成、通常の補習授業など手厚い指導を継続し行った。  
令和5年度 of 国家試験結果は、理学療法学専攻で100%合格を達成することができた。その他の学科・専攻においても8割以上の合格率を残すことができた。今年度もさらなる飛躍を目指し取り組んでいきたい。
- (2) 学修の成果を最大限に引き上げるために、文科省が推し進める学修の質保証の向上のひとつである学修成果の可視化のシステムを導入した。これは、学生が主体的に何を学び、何ができるようになったのかを可視化できるようになるシステムである。令和6年の4月から4年生に対しシステムは稼働しており、順次他学年にも利用を開始する予定である。その他学生FDを発足。これは各学科・専攻から合計12名学生が参加し、大学の授業等をより良くするための意見を学生からも募り、反映を行うものである。具体的には、学修支援システムNIMSポータルを使い勝手について意見を聞いたり、教員の授業評価と表彰などを行った。今後も継続して活発な意見交換等を実施していく。

#### 2 学生部門における取り組み

- (1) 令和5年度は新型コロナウイルスの5類以降を受け、様々な規制が緩和され、コロナ以前と同様に多くのイベントを実施することができた。手始めに4月には新入生全員で長野県白樺高原ホテルにて一泊二日のフレッシュマンセミナーを実施し新入生同士親交を深めるなど、これからの大学生活に弾みをつけることができた。また、2020年からコロナの影響により延期が続いていた、AED講習会も再開した。6月の大樹祭ではおよそ2日間にわたり開催され、約520名の参加があり、学科・専攻やサークル等の模擬店参加や、青島健太客員教授トークショー、お笑いライブ、うたうまバトルなど学生、教職員、外部の方々が一緒に楽しむことができた。そのほか、新歓イベントや、NIMSスポーツ大会、ハロウィンパーティー、クリスマスパーティーなどの例年恒例のイベントも積極的に開催し学生生活の充実に寄与することができた。
- (2) 入学式は新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、参加者は新入生と一部教職員のみとし、保護者の方向けにYouTubeによるライブ配信を実施した。

### 3 学生募集

学生募集の現状は、令和5年度の大学進学率は57.7%（文科省データ）と過去最高を記録しているものの、一方で少子化による18歳人口の減少が顕著で、私立大学の53.3%（日本私立学校振興・共済事業調べ）が定員割れを起こしており低迷が続いている。

このような大学を取り巻く状況が深刻さを増す中、本学においては、令和6年度は全学科で1,233名の志願者を獲得し366名の新入生を迎えた。学科ごとの内訳としては、診療放射線学科122名（定員90名）、リハビリテーション学科理学療法学専攻56名（定員80名）、作業療法学専攻15名（定員40名）、看護学科は64名（定員80名）、臨床工学科は27名（定員40名）、臨床検査学科は82名（定員80名）と残念ながら学部定員を充足させるには至らない結果となった。学生募集においては18歳人口の減少が一時的に緩やかになる今後5年を正念場とし、注力をして次年度の募集活動を推進したい。

### 4 就職支援の充実

文部科学省と厚生労働省の発表によると、令和6年4月1日現在の全国の大学生の就職内定率は97.3%（前年同期比1.5ポイント上昇）となり、非常に高い水準となっている。

本学においては就職率100%を目指し、就職支援センターが中心となり、きめ細やかなサポートを行うことで対象学生については概ね就職が内定した。

具体的な施策は以下の通り。

- (1) 学生が就活最前線に挑む前段階で、将来より良い医療従事者となるための心構えや面接時の留意点などについて、外部講師招聘による解説、加えて模擬面接も行う就職セミナーを実施した。
- (2) 令和5年度の求人説明会は、実施時期にインフルエンザとコロナが同時流行し、参加施設が医療関係であることから、安全確保の観点より初の完全オンライン実施とした。  
当日は266施設が参集、本学の学生は565名が参加し、大きな会場に移動する必要が無く、自宅でリラックスして行うことができ、質問もしやすかった等の意見も多く、就職への弾みをつけることができた。
- (3) 就職実習課の職員が求人票の閲覧や就職相談や履歴書の書き方の相談等も日常的に行い、内定獲得まで手厚いサポートを実施。さらにハローワークからの派遣職員を置き、情報の円滑な開示を行った。

(3) 令和5年度の求人数は以下の通りであった。

診療放射線学科	求人施設数	482 施設	求人数	904 人
理学療法学専攻	"	1096 施設	"	3929 人
作業療法学専攻	"	1078 施設	"	3021 人
看護学科	"	673 施設	"	13304 人
臨床工学科	"	390 施設	"	629 人

(4) 主な就職先は以下のとおりである。

①診療放射線学科 (67 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	埼玉医科大学病院	東京都	IMS Me-Life クリニック 池袋
	埼玉県立病院機構		JR 東京総合病院
	かわぐち心臓呼吸器病院		高島平中央総合病院
	三郷中央総合病院		高木病院
	行田総合病院		西東京中央総合病院
	埼玉石心会病院		多摩丘陵病院
	さやま総合クリニック		苑田第一病院
	三愛病院		博慈会記念総合病院
	大宮中央総合病院		練馬光が丘病院
	大宮共立病院		榊原記念病院
	さいたま記念病院		一橋病院
	イムス三芳総合病院		府中恵仁会病院
	イムス富士見総合病院		南多摩病院
	坂戸中央病院		メディカルスキャンニング
武蔵台病院	大塚北口診療所		
東京都	昭和大学藤が丘病院	千葉県	東京ベイ・浦安市川医療センター
	日本医科大学付属病院		千葉徳洲会病院
	杏林大学医学部付属杉並病院		千葉西総合病院
	東京都立墨東病院		亀田メディカルセンター
	東京都立豊島病院		行徳総合病院
	東京北部病院	神奈川県	昭和大学横浜市北部病院
	国立国際医療研究センター病院		昭和大学藤が丘病院
	がん研究会有明病院		東名厚木病院
	上板橋病院		新百合ヶ丘総合病院
	板橋中央総合病院		総合高津中央病院
イムス東京葛飾総合病院	茨城県	美浦中央病院	
イムス葛飾ハートセンター	栃木県	宇都宮記念病院	

都道府県	内定先	都道府県	内定先
群馬県	日高病院	山梨県	山梨県立中央病院
青森県	八戸市立市民病院		山梨県厚生連健康管理センター
福島県	常磐病院		塩山市民病院
	済生会川俣病院	静岡県	熱海所記念病院
	太田西ノ内病院		石巻赤十字病院
	柘記念病院	宮城県	塩竈市立病院
山梨県	山梨大学医学部附属病院		

②リハビリテーション学科 理学療法学専攻 (67 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	埼玉石心会病院	埼玉県	清水病院
	大生病院		草加松原リハビリテーション病院
	TMG あさか医療センター		鳳永病院
	戸田中央リハビリテーション病院		介護老人保健施設はなぶさ
	新座志木中央総合病院		介護老人保健施設鶴瀬台の里
	TMG 宗岡中央病院		介護老人保健施設さくらの里
	上尾中央総合病院		株式会社 C Cube Create デイサービス CORE
	吉川中央総合病院		埼玉県央病院
	行田総合病院		株式会社和ーうちリハ深谷本店
	石井クリニック		川口きゅうぼろリハビリテーション病院
	圏央所沢病院	桃泉園北本病院	
	新久喜総合病院	飯能靖和病院	
	明生リハビリテーション病院	富家病院	
	丸木記念福祉メディカルセンター	東京都	初台リハビリテーション病院
	埼玉よりい病院		練馬駅リハビリテーション病院(奨学金)
	三愛病院		ねりま健育会病院
	西堀整形外科内科		河野臨牀医学研究所附属第三北品川病院
	西部総合病院		小平中央リハビリテーション病院
	和光リハビリテーション病院		田園調布中央病院
	三井病院		牧田総合病院
旭ヶ丘病院	板橋中央総合病院		
ワイルドナイツクリニック	明理会東京大和病院		
みさと健和病院	イムス板橋リハビリテーション病院		
熊谷総合病院	慈誠会徳丸リハビリテーション病院		

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	小金井リハビリテーション病院	栃木県	リハビリテーション花の舎病院
福島県	Medical fitness Re-Birth いわき本店	長野県	栗田病院
千葉県	印西総合病院	山口県	周南リハビリテーション病院
	船橋整形外科病院	静岡県	湖山リハビリテーション病院
群馬県	堀江病院		

### ③リハビリテーション学科 作業療法学専攻（23 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	埼玉県済生会加須病院	東京都	練馬駅リハビリテーション病院
	イムス富士見総合病院		九段坂病院
	川越リハビリテーション病院		慈雲堂病院
	霞ヶ関南病院		東京青梅病院
	圏央所沢病院	千葉県	五香病院
	丸木記念福祉メディカルセンター	神奈川県	座間総合病院
	介護老人保健施設うらら		横浜保土ヶ谷中央病院
	介護老人保健施設みどうの杜		江田記念病院
	新座病院		かわさき記念病院
	新座病院	茨城県	茨城県立病院
	原田病院	栃木県	栃木県医師会塩原温泉病院
	東松山医師会病院		

### ④看護学科（53 施設）

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	埼玉医科大学病院	埼玉県	埼玉県立病院機構
	自治医科大学附属さいたま医療センター		富家病院
	北里大学メディカルセンター(奨学金)		圏央所沢病院
	埼玉石心会病院		武蔵台病院
	イムス三芳総合病院		埼玉精神神経センター
	イムス富士見総合病院		愛和病院
	新座志木中央総合病院		専門学校医学アカデミー理学療法学科
	TMG あさか医療センター		所沢明生病院
	八潮中央総合病院		蓮田市(保健師)
	さいたま赤十字病院		東京都
	埼玉協同病院	昭和大学江東豊洲病院	
	医療生協さいたま生活協同組合	日本大学医学部附属板橋病院	

都道府県	内定先	都道府県	内定先
東京都	東京医科大学病院	東京都	湘南美容クリニック
	東京医科大学八王子医療センター		初台リハビリテーション病院
	東京慈恵会医科大学附属第三病院	山形県	山形大学医学部附属病院
	東京慈恵会医科大学附属病院	栃木県	自治医科大学附属病院
	昭和大学病院	群馬県	渋川医療センター(NHO)
	東京都済生会中央病院		公立藤岡総合病院
	東京都立多摩北部医療センター		くすの木病院
	青梅市		石井病院
	東京警察病院	神奈川県	北里大学病院
	複十字病院		神奈川県済生会横浜市東部病院
	東京都立小児総合医療センター		神奈川県立がんセンター
	東京都立広尾病院	宮城県	仙台病院
	東京都立大久保病院	新潟県	魚沼基幹病院
	東京都健康長寿医療センター	長野県	長野県立こども病院
	西東京中央総合病院(奨学金)		

⑤臨床工学科 (30 施設)

都道府県	内定先	都道府県	内定先
埼玉県	宏仁会小川病院	東京都	東京医科歯科大学病院
	埼玉県立循環器・呼吸器病センター		昭和大学病院
	戸田中央総合病院		東京都立広尾病院
	TMG あさか医療センター		板橋中央総合病院
	新座志木中央総合病院		イムス葛飾ハートセンター
	彩の国東大宮メディカルセンター		株式会社フィリップス・ジャパン南東京事業所
	東川口病院		大田池上病院
	イムス富士見総合病院		西東京中央総合病院
	三愛会総合病院		苑田第一病院
	新久喜総合病院		新東京病院
	さやま腎クリニック	千葉県	東葉クリニック八街
	埼玉県央病院		船橋総合病院
	埼玉病院(NHO)		古河総合病院
	株式会社アスト	栃木県	自治医科大学附属病院
	熊谷高等技術専門学校	神奈川県	横浜じんせい病院

## 5 施設・設備の拡充及び補修

1号棟3階の131教室132教室の間の既存間仕切りを解体し、教室の有効活用を図った。汚れが目立っていた1号棟、2号棟の廊下においては塗装工事を行い綺麗に塗り替えた。また、2号棟1階の学修スペース「LEAF」の改修、夜道を明るくするイルミネーションの設置を行い好評を得た。

学外の取り組みとしては、本学・城西大学・明海大学と東武鉄道により川角駅の学園口改札が新たに設置され、駅周辺の安全性が向上した。

# before



# after





## ＼もっと／ NIMS が好きになる！プロジェクト 第3弾

2号棟1F リニューアルオープン！

Learning Commons **LEAF** 

- ・「グループ学習」「個別学習」「教員による個別指導」などニーズに応じて柔軟にレイアウト変更可能。
- ・医療・基礎教育科の教員室を移動し、より学生と近い距離に。個別相談対応スペースも設置。
- ・開放感のあるガラス戸、中庭を臨むカウンター席、一人でも二人でもグループでも利用しやすい空間に。
- ・壁一面ホワイトボードを設置。プロジェクト使用も可能に。各種イベント、プレゼン、グループ学習に対応

Before 

After 



第3弾として2号棟1Fの改修工事を行った。長年親しんでいた愛称はそのままに、**「Learning Commons LEAF」**としてリニューアルオープン。

Learning Commons（ラーニングcommons）とは自主学習をはじめ、ディスカッションやグループ発表の準備、プレゼンテーションの練習などでもできる空間という意味を持ちます。多様なニーズに対応できるよう、レイアウト変更しやすい家具を置きました。



／もつと／

## NIMS が明るくなる！プロジェクト

第1弾スノーピークとコラボした1号棟1F「Relax Area～TAKIBI～」と第2弾IKEAとコラボした「NIMS Lounge～まほろば～」をはじめとするさまざまな場所に、クリスマスの飾り付けを行った。

また、暗いという意見があった場所には、明るい空間になるよう電飾を設置した。



## 6 教育研究備品の購入

1) MRイメージング装置(診療放射線学科) . . . . .	予算	115,000 千円
2) 医用テレメーター式(理学療法学専攻) . . . . .	予算	4,337 千円
3) スポーツ用車いす(作業療法学専攻) . . . . .	予算	410 千円
4) 分娩監視装置シミュレーター(看護学科) . . . . .	予算	660 千円
5) 全身麻酔装置(臨床工学科) . . . . .	予算	6,050 千円
6) リトラトムマイクロトム(臨床検査学科) . . . . .	予算外	1,159 千円
7) 筋電図・誘発電位検査装置(医療・基礎教育科) . . . . .	予算	4,569 千円

○ 「もっと NIMS が好きになる！プロジェクト」 . . . . . 予算 55,000 千円

### 診療放射線学科

MRイメージング装置



### 理学療法学専攻



医用テレメーター式

## 作業療法学専攻

スポーツ用車いす



## 看護学科

分娩監視装置  
シミュレーター

## 臨床工学科

全身麻酔装置



## 臨床検査学科

リトラームマイクローム



## 医療・基礎教育科

筋電図・誘発電位検査装置



## 7 教育改革に係る予算及び実績

### (1) 学長特別研究費 実績

令和5年度の学長特別研究費で実施した研究は下記項目。

2023（令和5）年度 学長特別研究費実績

※（ ）内は研究期間

	研究者	研究テーマ	今年度予算額	実支出累計額
1	診療放射線学科 佐藤 洋 教授 (2023)	放射線治療における「MU値検証ソフト」を使用した学習効果について	¥996,000	¥836,000
2	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 徳永 千尋 教授 (2023-2024)	新時代の医療科学—人々の健康と未来を守るために—医療科学を学ぶ学生の課題解決に導くデータ収集と分析—	¥1,800,000	¥0
3	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 西田 典史 教授 (2022-2023)	ケアランボリンの跳躍動作における筋電図研究	¥100,000	¥87,766
4	リハビリテーション学科 作業療法学専攻 小林 毅 教授 (2022-2023)	乳がん当事者のQOLにおける経時的要因および予測可能性の検討	¥2,004,742	¥377,913
5	看護学科 小澤 美和 教授 (2023-2024)	全国の高齢者施設における看護師と介護士の看取りケア教育プログラムの構築	¥1,467,350	¥793,625
6	臨床工学科 中尾 教伸 教授 (2022-2024)	透析患者における血圧関連合併症の発症要因に関する疫学的研究	¥1,320,000	¥660,000
7	臨床検査学科 関 貴行 教授 (2023-2024)	疾患モデルラットを用いた炎症性腸疾患の発症および腸管収縮機能障害メカニズムの解明	¥1,200,000	¥189,090
8	臨床工学科 大矢 哲也 准教授 (2023-2024)	視線入力による微動補正処理を用いた入力方式の提案	¥1,289,980	¥673,882
9	看護学科 川込 あゆみ 講師 (2022-2023)	地域交流の種類と認知症の人への理解や尊厳の相違の関連；日本老年学的評価研究（JAGES2019）による横断研究とM町の地域交流における認知症の社会的包摂に関わる質的研究	¥626,040	¥0
10	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 稲垣 郁哉 助教 (2023-2024)	理学療法士養成校の学生におけるキャリア意識の実態調査	¥1,241,000	¥594,867
11	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教 (2023-2024)	医療系大学生の学業成績に与える動機づけ、職業的アイデンティティ、メタ認知の影響	¥1,286,300	¥785,861
12	医療・基礎教育科 白戸 亮吉 助教 (2022-2023)	予防医療のための正確な情報の取得・評価および健康・予防行動を促す効果的な情報提供方法の検討	¥1,056,565	¥122,609

令和6年度の学長特別研究費新規採択研究は下記項目。

2024（令和6）年度 学長特別研究費新規採択者

	研究者	研究テーマ	予算額
1	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 工藤 昌弘 教授 (2024-2026)	坂戸・鶴ヶ島消防組合における高齢期職員の体力維持・向上プログラム開発	¥1,930,000
2	臨床検査学科 渡邊 晃広 准教授 (2024-2026)	機械学習を用いた血液浄化療法中における安全支援システムの開発	¥2,170,560
3	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 峯岸 雄基 助教 (2024)	in silicoとin vitroの融合による軸索再生促進に関わる運動誘発性因子の探索	¥1,985,202
4	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 姚 潤宏 助教 (2024)	物理療法を活用した力学と光学エネルギー複合刺激法による高齢者記憶に及ぼす効果	¥1,500,000
5	臨床検査学科 島村 明花 助教 (2024)	全血を用いた新しい凝固検査法の検討	¥920,000

## (2) 科学研究費助成事業（科研費）実績

令和5年度の科研費で実施した研究は下記項目。

2023（令和5）年度科学研究費助成事業実績

※（ ）内は研究期間

	研究者	代表/分担	研究種目	令和5年度交付決定額
1	診療放射線学科 藤井 義大 助教（2018-24）	代表者	若手研究	¥0
2	看護学科 小坂 恵美 教授（2019-24）	代表者	若手研究	¥0
3	医療・基礎教育科 小川 由香里 准教授（2020-24）	代表者	若手研究	¥0
4	臨床検査学科 菅原 佳奈子 助教（2021-24）	代表者	基盤研究 C	¥1,300,000
5	臨床検査学科 山口 航 准教授（2021-24）	代表者	基盤研究 C	¥1,560,000
6	看護学科 末永 弥生 教授（2021-24）	代表者	基盤研究 C	¥1,690,000
7	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 山口 和人 助教（2022-24）	代表者	若手研究	¥650,000
8	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 姚 潤宏 助教（2022-24）	代表者	若手研究	¥2,310,000
9	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 峯岸 雄基 助教（2023-24）	代表者	研究活動スタート支援	¥1,430,000
10	臨床検査学科 渡邊 晃広 准教授（2021-24）	分担者	基盤研究 B	¥410,000
11	看護学科 平田 礼子 教授（2022-24）	分担者	基盤研究 C	¥150,000

令和6年度の科研費新規採択研究は下記項目。

2024（令和6）年度科研費新規採択

	研究者	代表者	研究種目	令和6年度交付申請額
1	リハビリテーション学科 理学療法学専攻 峯岸 雄基 助教（2024-26）	代表者	若手研究	¥1,820,000
2	臨床検査学科 菅原 佳奈子 助教（2024-26）	代表者	基盤研究 C	¥2,600,000

## 8 研究部門の充実

研究活動として紀要委員会より「日本医療科学大学研究紀要」第 16 号が発行された。また、科学研究費助成金の応募は 9 件（教授 1 名、准教授 3 名、講師 2 名、助教 3 名）であった。

## 9 国際交流研究センターの活動

2012 年から始動した NIMS サマープログラムを、2023 年度（令和 5 年度）は 4 年ぶりに実施した。また、フィリピン協定校との交流や学生・教職員対象の英会話教室を対面で実施することができた。具体的な活動内容は以下の通り。

### ①NIMS サマープログラム

実施日：令和 5 年 8 月 23 日～8 月 31 日（7 泊 9 日）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により 4 年ぶりに、ポートランドとシアトルの 2 都市に滞在するという初めての試みを取り入れ、大学 1 年生 32 名が参加し、教職員 4 名が同行した。

ポートランド大学での看護実習体験、現地施設でのボランティア活動、バステリア大学での人体解剖実習、オレゴン健康科学大学やハーバービューメディカルセンターでの日本人医師による講義や施設見学など多彩な研修プログラムとなった。また、現地大学生との交流やラフティング体験、シアトル市内観光など、学習面以外にも充実した内容となり、参加学生より高評価を得た。



### ②学生向け英会話教室

実施日：令和 5 年 5 月 9 日

ネイティブの先生による、「Let's Learn English through Fun Game !!」という英語イベントを実施し、8 名の学生が、様々なゲームを通じ楽しみながら英語時間を過ごした。

### ③教職員向け英会話教室

実施日：令和 5 年 6 月 23 日・6 月 30 日・7 月 7 日

ネイティブの先生による教職員向け英会話教室を計 3 回実施し、6 名の教職員が参加した。英語で自己紹介の方法やハワイ研修等、海外旅行で使えるフレーズを学んだ。



#### ④新藤国際交流研究センター長による講演会

実施日：令和5年7月3日・4日

実践英語の授業で、新藤洋子国際交流研究センター長がゲストスピーカーとして、海外での経験や本学の国際交流活動について講演を行った。また、英会話のキーフレーズやアメリカと日本の医療の違いなどについても紹介した。



#### ⑤フィリピン教育機関視察

実施日：令和5年7月24日～7月29日（5泊6日）

フィリピン マニラ及びセブ島で現地教育機関（高等学校・大学・語学学校）を訪問し、研修旅行や短期語学留学についての視察を行った。本学の協定校である Adventist University of Philippine (AUP)や、AUP キャンパス内にある Academy（高等学校）を訪問し、フィリピンの教育事情について話を聞くことができた。

また、同じく本校協定校である Manila Adventist College (MAC) も訪問し施設見学の他、学長他幹部職員にもお会いする事ができ、途絶えかけていた交流への期待が膨らんだ。

さらに、セブ島では2日間で4か所の英語学校を視察した。どの学校も1対1の授業で、徹底的に話す授業が行われており、フィリピンの英語力の高さをうかがうことができた。

#### ⑥フィリピンアドベンティスト大学（AUP）系列高校教員による講演会

実施日：令和6年2月22日

協定校であるフィリピンアドベンティスト大学（AUP）系列高校の校長と前校長2名が来訪し、「フィリピンでの英語教育の現状」についての講演会を実施し、本校教職員や学生、近隣の方々が参加した。

フィリピンではどのように英語教育が発展してきたか、フィリピンの語学レベルが高い理由など、大変興味深い内容となった。

また、学内見学や理学療法学専攻にて体験プログラムを実施した他、よさこいサークルの演舞も鑑賞し、サークルの学生と交流をした。

### ⑦フィリピンマニラアドベンティスト大学（MAC）関係者来訪

実施日：令和6年3月6日

2016年12月以来約7年ぶりに協定校であるマニラアドベンティスト大学（MAC, フィリピン）から関係者20名が来訪した。

診療放射線学科、看護学科、臨床工学科、臨床検査学科の実験室や実習室の見学、リハビリテーション学科理学療法学専攻の教員による歩行訓練指導の英語でのデモンストレーションや、作業療法学専攻のけん玉体験など、学内ツアーを行った。

令和5年7月にはマニラアドベンティスト大学を訪問しており、今回の訪問で、パンデミック後初めての相互訪問が実現した。今後は教職員、学生の訪問や研修、研究などコラボレーション等、協定校として両大学間の交流を活発化させていく予定である。

### ⑧ベトナム ドンナイ技術大学訪問

実施日：令和6年3月18日～3月22日（4泊5日）

本学看護学科の末永先生の研究調査に、協定校であるドンナイ技術大学（DNTU）の学生と教員が協力いただけることになり、末永先生がDNTUを訪問した。

滞在中はDNTUの経営委員会メンバーや保健科学部とも交流の機会があった。日本の看護教育プログラム等に関するワークショップを行い、DNTUの学生や教職員約80名が参加した。

パンデミック後初となった今回の訪問をきっかけに、今後教員や学生同士の交流を再開していく予定である。

### ⑨特定非営利活動法人 J.J.N Social Contribution との共同事業

Empowering English Camp

実施日：EEC Summer 令和5年7月8日・9日

EEC Winter 令和5年12月9日・10日

EEC Spring 令和6年3月23日・24日

令和3年度に始まった近隣市町在住の小学生向け英語イベントを、令和5年度は3回開催した。各回20名前後が参加し、その多くがリピーターとして参加している状況である。ネイティブ英語講師の他、学生スタッフと一緒にゲームやスポーツを通して楽しく英会話を学んだ。



## 10 学位記授与式の実施



令和6年3月10日、川越プリンスホテルにて、学位記授与式を執り行った。卒業生数は、診療放射線学科 88名、リハビリテーション学科理学療法学専攻 82名、リハビリテーション学科作業療法学専攻 27名、看護学科 82名、臨床工学科 42名、合計 321名が巣立っていった。

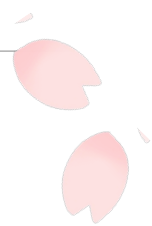


今年度は、コロナ禍前の内容に近づけ、ご来賓・役員・保護者の方にもご列席いただき、卒業生の門出をお祝いした。式典の様子については大学 youtube チャンネルからライブ配信を行った。(個人情報保護のため本学卒業生関係者のみの限定公開)



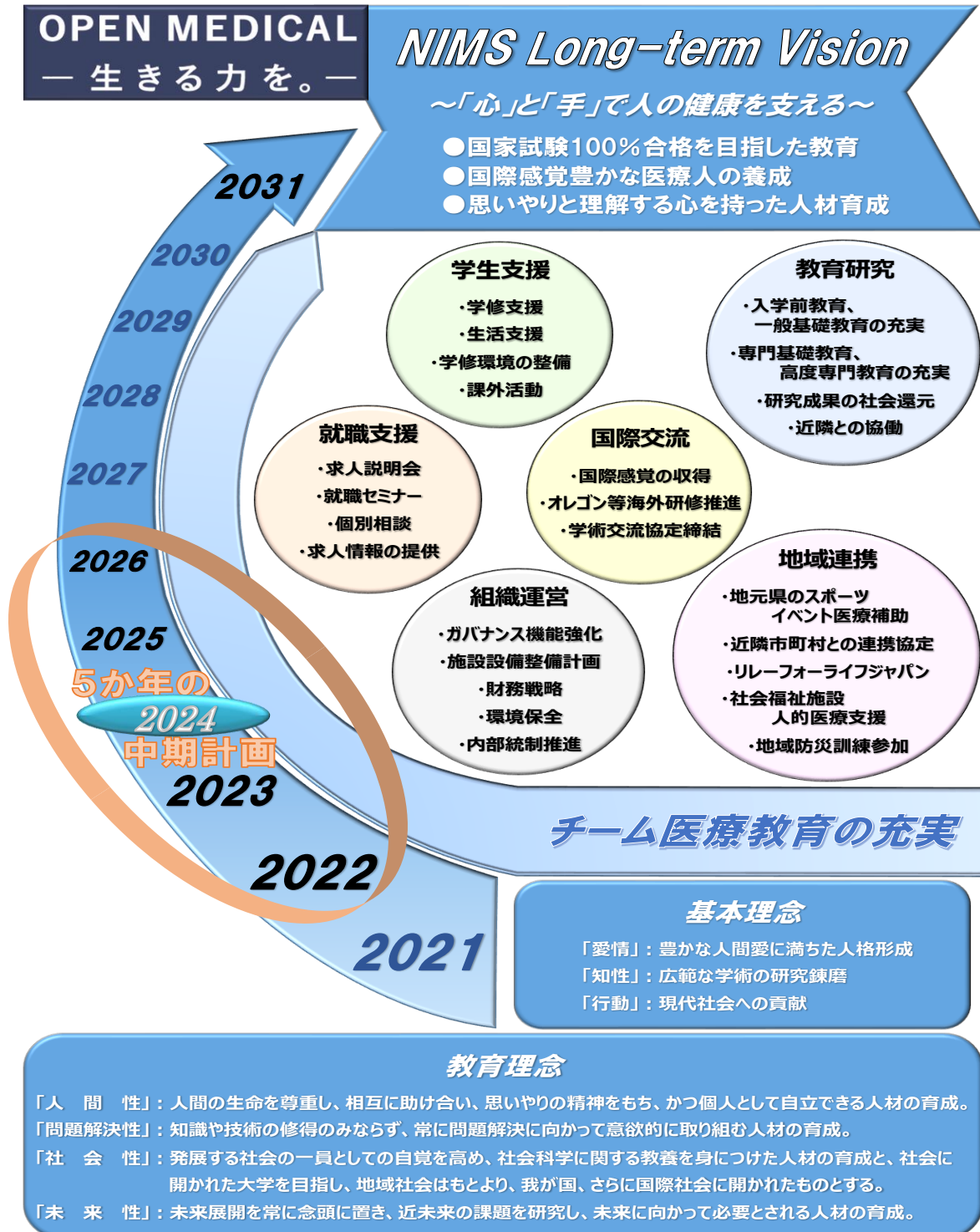
### 卒業パーティー

教員・職員から卒業生に向けたお祝いメッセージ動画と、サプライズダンスや抽選会など盛大に卒業生の門出をお祝いした。



## 11 中期計画 “NIMS 2022 ”について（進捗状況）

2021年に策定した長期ビジョンは、医療業界に深く貢献できる自立人材育成の教育体制の整備と教育拠点の整備、トップクラスの教育維持のための財政基盤の確保と収支均衡の継続、ステークホルダーとのコミュニケーションの充実推進を目的とした地域貢献そして組織内部のコミュニケーションの推進と人材育成を掲げ、これらを具現化すべく本学の中期取り組みテーマ（教育改革、学生募集と学生支援、教学マネジメント、社会連携・社会貢献、国際交流）を策定と役割分担を明確化し実働を開始している。



## 4. 財務の概要 財務データの経年比較

### 1) 貸借対照表関係

#### (1) 貸借対照表の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
資産の部						
固定資産	8,059,448	8,006,877	8,331,920	8,131,557	7,335,109	
流動資産	2,289,399	2,410,127	1,959,172	2,389,123	3,362,433	
資産の部合計	10,348,847	10,417,004	10,291,092	10,520,680	10,697,542	
負債及び純資産の部						
固定負債	308,878	298,140	340,786	359,889	331,407	
流動負債	570,355	662,221	289,114	371,395	353,738	
負債の部合計	879,233	960,361	629,900	731,284	685,145	
基本金	9,135,743	9,365,065	10,104,857	10,198,321	10,352,759	
繰越収支差額	333,871	91,578	△ 443,665	△ 408,925	△ 340,362	
純資産の部合計	9,469,614	9,456,643	9,661,192	9,789,396	10,012,397	
負債及び純資産の部合計	10,348,847	10,417,004	10,291,092	10,520,680	10,697,542	

#### (2) 財務比率の経年比較

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
運用資産余裕比率 (運用資産-外部負債/経常支出)	256.66%	149.61%	153.39%	147.93%	161.83%
流動比率 (流動資産/流動負債)	401.40%	363.95%	677.65%	643.28%	950.54%
総負債比率 (総負債/総資産)	8.50%	9.22%	6.12%	6.95%	6.40%
前受金保有率 (現金預金/前受金)	566.36%	1631.39%	1,353.87%	1,724.68%	2,875.41%
基本金比率 (基本金/基本金要組入額)	99.70%	96.86%	100.00%	99.90%	99.97%
積立率 (運用資産/要積立額)	115.51%	116.04%	98.65%	103.86%	102.48%

資産の部の合計は、前年度末より177百万円増の10,698百万円となった。

内訳は、有形固定資産が132百万円減の6,071百万円、特定資産が42百万円増の751百万円、その他固定資産が706百万円減の512百万円、流動資産が973百万円増の3,362百万円である。固定資産の減少と流動資産の増加は、保有有価証券の期中償還が主な要因である。

負債の部の合計は、46百万円減の685百万円となった。

内訳は、固定負債が28百万円減の331百万円、流動負債が18百万円減の354百万円である。

また、基本金は10,353百万円、繰越収支差額は△340百万円となり、純資産の部の合計は、前年から223百万円増加の10,012百万円となった。

## 2) 資金収支計算書関係

### (1) 資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
収入の部						
学生生徒等納付金収入	2,230,039	2,216,176	2,352,342	2,534,615	2,557,267	
手数料収入	38,700	37,422	35,639	35,987	28,896	
寄付金収入	0	12,000	0	0	200	
補助金収入	114,613	158,328	211,954	287,745	295,609	
資産売却収入	0	0	0	0	1,000,923	
付随事業・収益事業収入	700	200	1,500	1,100	400	
受取利息・配当金収入	10,559	10,981	9,715	16,426	9,644	
雑収入	17,750	24,202	23,028	42,174	52,297	
前受金収入	400,500	145,500	142,500	135,600	114,600	
その他の収入	474,510	2,082,044	561,598	582,526	714,213	
資金収入調整勘定	△ 420,103	△ 425,670	△ 162,726	△ 183,294	△ 183,960	
前年度繰越支払資金	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663	
収入の部合計	4,640,320	6,529,435	5,549,220	5,382,150	6,928,752	

(単位：千円)

科目	年度					
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
支出の部						
人件費支出	1,169,638	1,281,238	1,340,594	1,476,481	1,504,604	
教育研究経費支出	364,215	480,532	517,369	593,837	619,650	
管理経費支出	133,992	167,526	165,838	342,677	257,170	
施設関係支出	64,623	1,607,384	47,584	19,379	33,723	
設備関係支出	61,505	454,507	97,994	68,900	197,603	
資産運用支出	100,948	0	542,646	69,103	370,000	
その他の支出	545,824	589,924	957,703	598,111	796,956	
資金支出調整勘定	△ 68,677	△ 425,346	△ 49,779	△ 125,001	△ 146,172	
翌年度繰越支払資金	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663	3,295,218	
支出の部合計	4,640,320	6,529,435	5,549,220	5,382,150	6,928,752	

令和5年度は、臨床検査学科開設3年目となり、75名の学生が入学した。それに伴い学生納付金収入の増加、教育研究経費の増加となった。収入面では、債券の償還によって現預金の増加が発生。資金収支における収入の部では、学生生徒等納付金収入が主となるが、入金総額は、4,590百万円となり、前年度繰越資金2,339百万円を含めた収入合計は6,928百万円となった。

支出の部では、人件費については定年退職者が多い年度となり、退職金支出が増加の要因となった。他に、MRI装置の購入等で設備関係支出約198百万円、資産運用支出で370百万円等を含め支出金額総額で3,633百万円となり、翌年度への繰越支払資金が3,295百万円となった。

(2) 活動区分資金収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目	年度				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
<b>教育活動による資金収支</b>					
教育活動資金収入計	2,401,802	2,437,329	2,624,463	2,901,621	2,934,669
教育活動資金支出計	1,667,845	1,929,296	2,023,801	2,412,995	2,381,425
差引	733,957	508,033	600,662	488,626	553,244
調整勘定等	△ 12,063	△ 196,715	△ 68,877	38,338	3,569
教育活動資金収支差額	721,894	311,318	531,785	526,964	556,813
<b>施設整備等活動による資金収支</b>					
施設整備等活動資金収入計	0	1,561,000	0	0	923
施設整備等活動資金支出計	176,128	2,061,891	445,578	138,279	281,326
差引	△ 176,128	△ 500,891	△ 445,578	△ 138,279	△ 280,403
調整勘定等	0	281,949	△ 303,891	3,892	△ 6,547
施設整備等活動資金収支差額	△ 176,128	△ 218,942	△ 749,469	△ 134,387	△ 286,950
小計（教育活動資金収支差額+ 施設整備等活動資金収支差額）	545,766	92,376	△ 217,684	392,577	269,863
<b>その他の活動による資金収支</b>					
その他の活動資金収入計	467,891	531,120	543,801	585,776	1,684,756
その他の活動資金支出計	518,457	518,078	770,516	568,961	998,065
差引	△ 50,566	13,042	△ 226,715	16,815	686,691
調整勘定等	0	0	0	0	0
その他の活動資金収支差額	△ 50,566	13,042	△ 226,715	16,815	686,691
支払資金の増減額 （小計+その他の活動資金収支差額）	495,200	105,418	△ 444,399	409,392	956,554
前年度繰越支払資金	1,773,052	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663
翌年度繰越支払資金	2,268,252	2,373,670	1,929,271	2,338,663	3,295,217

(3) 財務比率の経年比較

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
教育活動資金収支差額比率 （教育活動資金収支差額/教育活動資金収入）	30.06%	12.77%	20.26%	18.16%	18.97%

3) 事業活動収支計算書関係

(1) 事業活動収支計算書の状況と経年比較

(単位：千円)

科目		年度					
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	2,230,039	2,216,176	2,352,342	2,534,615	2,557,267
		手数料	38,700	37,423	35,639	35,987	28,896
		寄付金	0	1,000	0	0	200
		経常費等補助金	114,613	158,328	211,954	287,745	295,609
		付随事業収入	700	200	1,500	1,100	400
		雑収入	17,751	24,202	23,028	42,174	52,297
		教育活動収入計	2,401,803	2,437,329	2,624,463	2,901,621	2,934,669
	事業活動支出の部	人件費	1,220,586	1,270,500	1,383,240	1,495,585	1,476,121
		教育研究経費	603,412	723,074	865,199	939,904	970,068
		管理経費	148,371	178,708	181,189	359,256	276,045
		教育活動支出計	1,972,369	2,172,282	2,429,628	2,794,745	2,722,234
	教育活動収支差額		429,434	265,047	194,835	106,876	212,435
	教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	10,559	10,981	9,715	16,426
その他の教育活動外収入			0	0	0	0	0
教育活動外収入計			10,559	10,981	9,715	16,426	9,644
事業活動支出の部		借入金等利息	0	0	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0	0	0
教育活動外収支差額		10,559	10,981	9,715	16,426	9,644	
経常収支差額		439,993	276,028	204,550	123,302	222,079	
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	0	0	0	0	923
		その他の特別収入	0	11,000	0	4,902	0
		特別収入計	0	11,000	0	4,902	923
	事業活動支出の部	資産処分差額等	0	300,000	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0	0	0
		特別支出計	0	300,000	0	0	0
特別収支差額		0	△ 289,000	0	4,902	923	
基本金組入前当年度収支差額		439,993	△ 12,972	204,550	128,204	223,002	
基本金組入額合計		△ 164,698	△ 229,321	△ 739,792	△ 93,464	△ 154,439	
当年度収支差額		275,295	△ 242,293	△ 535,242	34,740	68,563	
前年度繰越収支差額		58,576	333,871	91,578	△ 443,664	△ 408,924	
翌年度繰越収支差額		333,871	91,578	△ 443,664	△ 408,924	△ 340,361	
(参考)							
事業活動収入計		2,412,362	2,459,310	2,634,178	2,922,949	2,945,236	
事業活動支出計		1,972,369	2,472,282	2,429,628	2,794,745	2,722,234	



(2) 財務比率の経年比較

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
人件費比率 (人件費/経常収入)	50.60%	51.89%	52.51%	51.25%	50.13%
教育研究経費比率 (教育研究経費/経常収入)	25.01%	29.53%	32.85%	32.21%	32.95%
管理経費比率 (管理経費/経常収入)	6.15%	7.30%	6.88%	12.31%	9.38%
事業活動収支差額比率 (基本金組入前当年度収支差額/事業活動収入)	18.24%	-0.53%	7.77%	4.4%	7.57%
学生生徒等納付金比率 (学生生徒等納付金/経常収入)	92.44%	90.52%	89.30%	86.86%	86.85%
経常収支差額比率 (経常収支差額/経常収入)	18.24%	11.27%	7.77%	4.23%	7.54%

2. その他

1) 有価証券の状況

(単位：千円)

種類	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	500,000	496,780	△ 3,220
合計	500,000	496,780	△ 3,220
時価のない有価証券	1,000	—	—
有価証券合計	501,000	—	—

2) 借入金の状況

該当なし

3) 学校債の状況

該当なし

4) 寄付金の状況

一般寄付金：200千円

5) 補助金の状況

(単位：千円)

種別等	事業名等	金額
国庫補助金	私立大学等経常費補助金等	163,751
国庫補助金	高等教育修学支援事業補助金(※1)	85,372
いわき市	いわき市寄附講座補助金	46,486
合計		295,609

※1補助金と同額を奨学費として対象学生の授業料等との相殺処理を実施している。

## 6) 収益事業の状況

該当なし

## 7) 関連当事者との取引の状況

### (1) 関連当事者

(単位：円)

役員・法人等の名称	資本金 (千円)	事業内容	取引内容	取引金額	期末残高
株式会社泰同(注1)	23,000	不動産賃貸業、ESCO事業	ESCOサービス料 の支払い	5,723,520	-

(注1) 理事佐藤知之及びその近親者が議決権の100%を直接保有している。

(注2) ESCOサービス料については、市場価格を勘案して一般的取引条件と同様に決定している。

### (2) 出資会社

(単位：円)

会社の名称	資本金 (千円)	出資割合	事業内容	取引金額
(株)日本医療科学	1,000	100%	損害保険業務他	保険料支払 7,440,761 仲介手数料支払 5,791,857

## 3. 経営状況の分析等

日本私立学校振興・共済事業団が分析する経営判断指標は、学校法人の財務状況を経営状態が良好であると考えられる順から、①正常状態、②経営困難状態、③自力再生が極めて困難な状態の3つに分類している。

本法人は、①正常状態に属し、教育活動資金収支差額が3か年のうち2か年以上黒字であり、かつ、外部負債があっても10年以上資金繰りに問題が生ずる可能性がなく、更に経常収入から経常支出を控除した経常収支差額も黒字である。

黒字幅（経常収支差額比率）の水準は10%を下回っている。しかし、昨年度4.23%だった比率は今年度7.54%まで改善された。また、積立率も前年に引き続き100%以上を維持している。

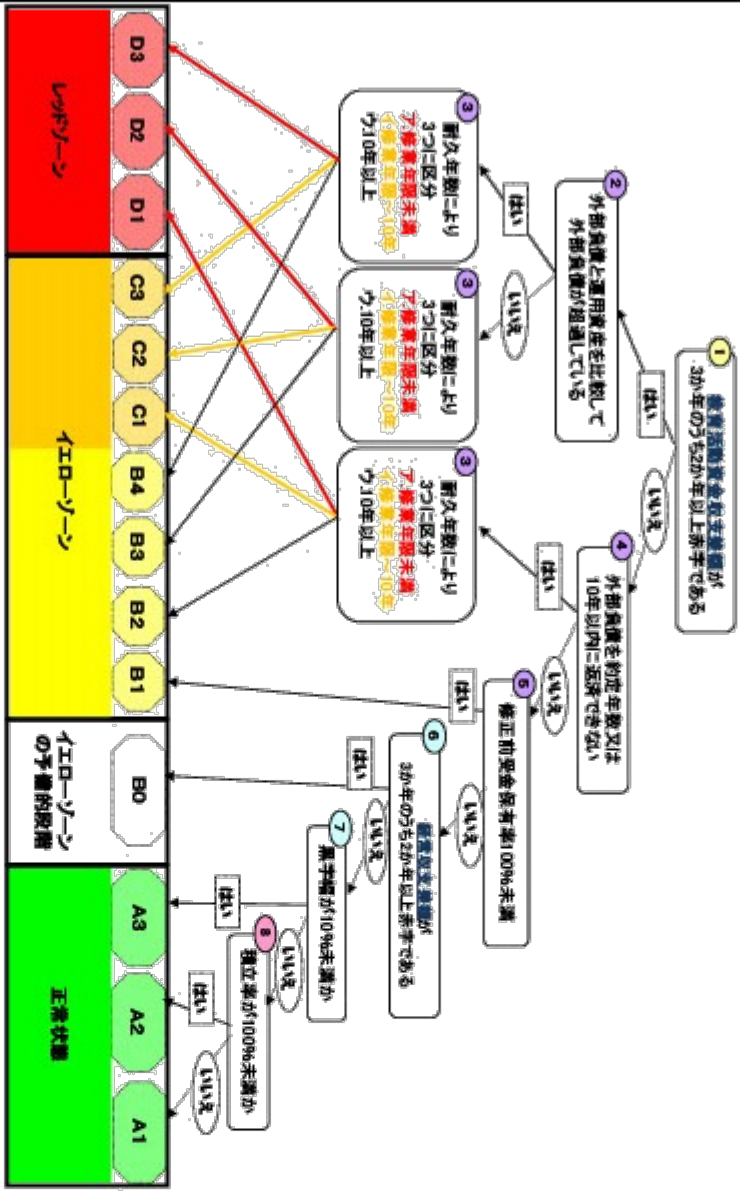
しかしながら、正常状態でも、上から3つ目のA3のレベルなので、将来はA2・A1を目指したい。

BO	A3	A2	A1
イエローゾーンの 予備的段階	正常状態		

右側ほど、経営状態がよい

# 定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分（法人全体）

※平成27年度から



**●教育活動資金収支差額**

【教育活動資金収入】	平納収入 + 学費収入 + 特別寄付金収入(非営利活動) + 一般寄付金収入 + 授業料等補助金収入(施設費補助) + 中納寄付金収入 + 雑収入	【教育活動資金支出】	人件費支出 + 教育研究経費支出 + 施設費支出 + 管理経費支出	+	固定資産売却
------------	---	------------	-----------------------------------	---	--------

※教育活動資金収支差額および経営収支差額の3か年とは、一昨年度、昨年度の決算実績および今年度決算見込み3か年を指す

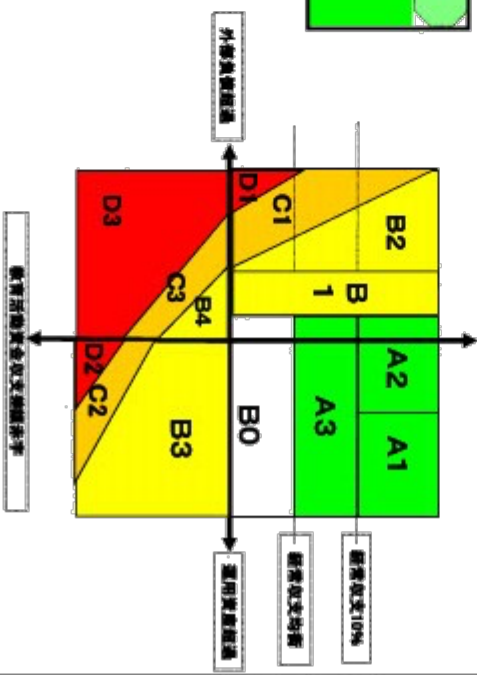
- 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務
- 運用資産 = 現金預金 + 特定資産 + 有価証券
- 前年度とは、あと同年で資金ショートするかを判断し、原則として修業年限を基準に設定
- 修正前受金保有率 = 運用資産 ÷ 前受金
- 経営収支差額 = 経常収入(教育活動外収入) - 経常支出(教育活動外支出)
- 独立率 = 運用資産 ÷ 要請立額(要請額 + 要請引当金 + 2号基本金 + 3号基本金)

**① 教育活動資金収支差額**  
一般に学校法人の継続は資金ショートにより危うく考えられるため、経営悪化の兆候を早期に発見し、経営破綻を防止するためには、1年間の経常的な教育研究活動の結果として現金が生み出せるかが重要になる。

**②③④⑤** 運用資産は十分か、外部負債は返済可能な額か  
教育活動資金収支差額が赤字の時は、過去の業績である運用資産を取り出すこととなる。特に多額の外部負債がある場合には将来的に返済可能な額が問題になる。黒字の時でも、外部負債が過大であれば同様の問題がある。また、期末の運用資産が少なすぎる場合もリスクが大きい。

**⑥⑦** 経営収支差額  
経常収支差額が黒字でなければ自己資本を取り出すこととなるため正常状態とはいえない。また経常収支差額が黒字であっても、基本金組入相当の黒字が生じていなければ経営収支は均割しないため黒字幅で3割に区分した。

**⑧** 独立率  
要請引当金計額等の要請立額に対して運用資産の量が十分に保たれているか。



# ⑦ 監査報告書

## 監査報告書

令和 6年 5月28日

学校法人 城西医療学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事

伊藤 正則



監事

鈴木 文雄



私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人城西医療学園寄附行為第16条の規定に基づき、同学園の令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)の業務及び財産の状況並びに理事の業務執行の状況について監査しました。

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会等に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を開覧するとともに、会計監査人と連携し、計算書類について検討するなど、必要と思われる監査手続を実施しました。

監査の結果、学校法人城西医療学園の業務に関する決定及び執行は適切であり、計算書類、すなわち、資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表(固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む)並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、その収支及び財産の状況を正しく示しており、業務若しくは財産又は理事の業務執行に関し、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認めます。

以上